

授業改善推進プラン

第2学年

	指導方法の課題分析	目指す授業の改善計画	備考
国語	<p>○姿勢や声の大きさ、速さに気を付けて話すことを指導する必要がある。</p> <p>○書くことに苦手意識のある児童も、進んで書くことに取り組めるように工夫する必要がある。</p> <p>○漢字やカタカナ、助詞、拗音、促音が文章の中で適切に使えるような指導が必要である。</p> <p>○大事なことを落とさないように聞いたり、互いの話を良く聞いて話題に沿って話し合ったりする技能を指導していく必要がある。</p> <p>○語彙力を増やし、文章や話す内容を詳しく具体的にできるようにする必要がある。</p>	<p>○「声の大きさ」「読む速さ」「リズム」等のめあてや、読み方の形態(一人読み、一斉読み等)を工夫して、音読学習に取り組む。</p> <p>○作文、日記指導の際に読み直しをする習慣を付けさせる。</p> <p>○書き始めるまでの題材選びやメモ作りなど、スモールステップの支援を工夫する。</p> <p>○いろいろな教科で、二人組やグループでの話し合い活動を積極的に取り入れる。基本的な話型、聞き方の約束事の指導を継続して行う。</p> <p>○学級会や各教科での話し合いに、身近で興味ある話題を取り入れる。</p> <p>○毎週図書時間を取り入れ、読書に親しませたり、読み聞かせをしたりする。</p> <p>○「ことばのたからばこ」等を随時教室掲示していく。</p>	<p>○音読の日常化</p> <p>○スピーチ活動</p> <p>○声のものさし</p> <p>○短作文指導</p> <p>○読書の記録</p> <p>○ことばのたからばこ</p>
算数	<p>○くり上がりやくり下がりのあるたし算・ひき算、かけ算九九が苦手な児童に対する支援が必要である。</p> <p>○時間や長さ、かさの単位や測定について、理解の基礎となる経験をさせる指導をしていく必要がある。</p> <p>○問題文をよく読み、課題を理解させることを繰り返し指導していく必要がある。</p> <p>○分かり易い筆算の書き方を徹底する必要がある。</p>	<p>○具体物などを用いた操作活動を十分に行かせた上で、ドリル学習を重ね計算の手順に習熟させる。</p> <p>○生活の中に量感覚を意識させる活動を取り入れる。</p> <p>○授業の中で課題の焦点化をし、活動内容を明確にする。</p> <p>○かけ算の単元では、学年と算数少人数担当で計画を立て九九の定着ができるよう指導体制を組む。具体的には、算数専科と上級生(3年生)による九九練習タイムを給食準備中に設け、児童が正しく唱えられるように支援するなど、人の配置を工夫する。</p> <p>○ノートと同じマス目の黒板等を活用し、マスの空け方や位の揃え方を示しながらノート指導をする。</p>	<p>○宿題の日常化</p> <p>○具体物、半具体物の活用</p> <p>○九九の定着のための指導</p> <p>○ノート黒板</p>
生活	<p>○めあてを理解し、見通しをもって、学習に取り組むことができるように、指導方法を工夫していく必要がある。</p> <p>○地域と自然に目を向けさせ、良さに気づき、大切にしようとする指導が必要である。</p>	<p>○自分でめあてを立てて活動する。その際、他教科や行事との関連を大切ににする。</p> <p>○地域や自然と自分とのかかわりに気付く学習活動を重視する。</p> <p>○1年生との交流を随時行い、目的意識を明確にする。</p> <p>○外部講師を招き、季節ごとの生きものに触れたり、話を聞いたりする機会を設ける。</p>	<p>○学校案内</p> <p>○松中たんけん隊</p> <p>○収穫祭</p> <p>○子ども広場</p> <p>○生活科見学</p>
音楽	<p>○規律を大切にしながら楽しんで活動することを通して、技術と表現力を身に付けさせる必要がある。</p>	<p>○皆で演奏や合唱をする楽しさを味わえるような雰囲気づくりをする。</p> <p>○苦手意識をもたせないように、児童をほめる場面を積極的に作り、技術や表現力を身に付けさせる。</p> <p>○体を動かしながら歌ったり表現したりできるようにする。</p>	
図工	<p>○身近な材料や用具を手を働かせて使い、感じたことを表す力を身につけさせる必要がある。</p>	<p>○材料に触れ合う時間を大切に、材料の色や形、手ざわりなどを捉えさせる。</p> <p>○土、粘土、紙、パス、はさみ、のり、カッターナイフ等の身近で扱いやすい材料や用具を用い、基本的な扱いが身につくよう、段階をおって丁寧に指導し、これらに十分慣れることができるようにする。</p>	
体育	<p>○活動への意欲をもたせ方の工夫が必要である。</p> <p>○いろいろな運動に対応できる、柔らかい体づくりや体力づくりをしていく必要がある。</p> <p>○自分でめあてをもって活動できる力を付けさせていく必要がある。</p>	<p>○集団での楽しさを実感させるような活動の仕方を工夫する。</p> <p>○基礎的な運動を体育の授業の中に取り入れる。</p> <p>○一人一人に合っためあてを立てさせ、自分ができるようになったことを実感させ、意欲的に取り組めるようにする。</p>	<p>○がんばりカードの活用</p>